



■ 嶺新クラブ
坂本 一之 議員

公共交通実証運行事業の来年度以降の計画は

市長 ▶ 補助事業は廃止されるが、予算の枠内で事業継続

坂本 平成 22 年度から 3 年間の予定で行ってきた公共交通実証運行事業が、平成 23 年度末で、国の補助金が打ち切られることになった。この事業は、交通空白地帯の解消や高齢者の移動手段を確保するなどを目的に行われてきた事業であり、国の補助金がなくなるからといって、事業廃止すべきではない反面、1 年半の利用状況や市民アンケートの内容を基に、見直さなければならない点もある。そこで、本事業の来年度以降の運行計画を聞く。



公共交通実証運行事業「甲斐市民バス」

市長 この事業は、平成 22 年度から平成 24 年度までの 3 か年を期間に、国の補助事業として実施している。しかし、国の方針変更があり、本年度から新たな「地域公共交通確保維持改善事業」に見直し統合され、来年度は補助対象とはならない。そこで本市地域公共交通総合連携計画に基づく実証運行事業は、市が負担していた予算の枠内で事業を縮小し、事業継続する考えである。

保育園幼稚園の将来計画協議会の状況は

市長 ▶ これまで 5 回協議会を開催し整備計画を協議検討している

坂本 昨年設置した「保育園幼稚園の将来計画協議会」での議論の状況は。

市長 この協議会は、市内の公立保育園および公立幼稚園の将来に係る事項を協議するため、平成 22 年 7 月に設置した。会議は、これまで 5 回開催しており、「保育園・幼稚園の現状と課題」、「保育園の将来定員」、「保育園・幼稚園の統廃合と民間委託」、また、「竜王地区の建て替えと将来計画」、「敷島庁舎の跡地利用」、「民業圧迫について」などを協議し検討してきた。今後、早急に全体計画をまとめ、より具体的に検討したいと考えている。

坂本 この協議会の協議を基に、竜王中央保育園の建て替えが本年度行われ、来年度には、竜王東保育園が移転により整備される計画であるが、関係者、隣接者などの地元説明会の考えは。

福祉健康部長 関係者に対する説明会は、1 月以降に開催する予定である。